

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	1	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 2 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下町橋
施設の所在地	富士見三丁目 2570 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.16		幅員(車道幅員)	12.96
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状態 等 の 概要	点検診断日	令和 5 年 12 月	
	調査結果	PC 桁に橋軸方向にひびわれが発生している。前回点検時より注入工により補修工事を行った形跡があるが再劣化や新たなひびわれが確認できる。 全主桁 19 本に対しひびわれが発生している桁は 5.6 本程度であり判定は C1 とするが、状況から明らかにひびわれは進行していると考えられ材料劣化の疑いもあるため詳細調査の実施を含め対応が必要である。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。	
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	
○平成29年度補修	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	2	道路台帳索引番号	O-24	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 4 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	大坪橋
施設の所在地	若宮二丁目 1160 番地 9 先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	48	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.8		幅員(車道幅員)	13.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁(PCホロー桁)の軸方向のひびわれは補修済である。 間詰からの漏水・遊離石灰が多く見られることや舗装(歩道)に損傷が多くみられることから舗装打換えの実施が望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 令和3年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	3	道路台帳索引番号	P-25	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	富士見下橋
施設の所在地	富士見二丁目 1855 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9		幅員(車道幅員)	6.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	橋台 (A1、A2) に 1.0mm を超えるひびわれが確認されていることから、速やかに補修を行なうことが望ましい。 防護柵のボルトナットにゆるみ・脱落がみられていることや舗装にひびわれが多く見られることから維持工事等での対策が望ましい。また、主桁・横桁や支承には腐食が確認されていることから、状況に応じて伸縮装置の非排水化とともに塗装の塗替えが望ましい。A1 橋台の G1 支承に土砂堆積が見られる維持工事等の対策が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	145.0				幅員(車道幅員)		7.3		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	鉄筋コンクリート逆T式橋台				基礎型式				
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚				海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	主桁や横桁の損傷は補修済であるが、まだ、主桁にひびわれや剥離・鉄筋露出が多数見られることや定着部にうきが見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 床版にすす汚れや落書きが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承に土砂詰まりが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 排水管取り付け金具が腐食により破断していることから、維持工事での対応が望ましい。 防護柵のボルトナットが脱落していることから、維持工事での対応が望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			15	15.5					0.5		
対策の内容・実施時期			補修工事	補修点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。 ○令和 5 年度より補修工事											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	5	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	岩下前田橋
施設の所在地	荊崎町岩下 1333 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.8		幅員(車道幅員)	4.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版の広範囲に豆板や剥離・鉄筋露出等が確認されていることから、予防保全の観点から速やかに補修を行なうことが望ましい。 舗装に5mm以上の蜘蛛の巣上のひびわれが多く見られること、地覆付近に土砂が堆積していることから、維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和１４年度
	内容	架け替え
	実施予定時期	令和７年度から
	対策費用 (百万円:概算)	30

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5	30				0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検	架替え				定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	6	道路台帳索引番号	R-24	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	楯無堰 1 号橋
施設の所在地	荊崎町上ノ山 1008 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	BOX	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状態 等 の 概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装に生じているひびわれは、やや進行しているため経過観察していく中で、損傷進行が確認された場合は早期に補修する必要がある。 頂板、及び底板には目立った損傷もなく健全な状況である。 側壁においてはハンチの下側にカルバート全体に渡った微細なひびわれが確認される。現状では軽微なため経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	7	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	権現沢橋
施設の所在地	宮久保字寺平 1718 番地先	起点からの距離		建設年度	1997
供用年数	27	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.6		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	舗装にひびわれや段差、土砂堆積が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 主桁間詰からの漏水・遊離石灰がみられるため状況に応じて補修が望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	8	道路台帳索引番号	P-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	馬背川 1 号橋
施設の所在地	宮久保字権現沢 2082 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	馬背沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.8		幅員(車道幅員)	5.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	舗装にひびわれや土砂の堆積がみられることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、床版や橋台、地覆に損傷が見られるが、状況に応じて補修することが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	9	道路台帳索引番号	P-18	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	穂坂 1-1 号橋
施設の所在地	宮久保字上野原 2285 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.4		幅員(車道幅員)	7.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版の広範囲に剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装には5mm以上のひびわれや土砂堆積が見られることから維持工事での対応が望ましい。 その他、橋台等に損傷がみられるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	10	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下新居下橋
施設の所在地	上今井字新井 1076 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6		幅員(車道幅員)	7.4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 舗装に 5mm 以上のひびわれや土砂堆積が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、主桁や床版、橋台に軽微な損傷が見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	11	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	藤井橋
施設の所在地	南下条字山影 538 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1983
供用年数	41	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.5		幅員(車道幅員)	12.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他軽微な損傷がみられるため状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 路上、下部工において過年度点検の損傷箇所が補修されている。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 平成29年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	12	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	坂井坂下 1 号橋
施設の所在地	北下条字山本 43 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9		幅員(車道幅員)	14.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	橋台にひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装にひびわれと土砂堆積がみられることから維持工事にて除去することが望ましい。 主桁に軽微な損傷が見られることから状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和14年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和6年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	13	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	坂井坂下 2 号橋
施設の所在地	北下条字山本 2016 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	BOX	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.6				幅員(車道幅員)		20.6		
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	床版に 0.3mm 以上のひびわれが多く発生しているため、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他、側壁や防護柵に損傷が見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	14	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	宮沢川橋
施設の所在地	駒井字西御門 441 番地先	起点からの距離		建設年度	1986
供用年数	38	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	宮沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	40.0		幅員(車道幅員)	10.3	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	起点側重力式橋台 終点側逆T式橋台			基礎型式	
橋脚工形式				海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月					
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれや段差が多く見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承周りに土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他損傷が見られるものの軽微であることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和 11 年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	15	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	上野跨線橋
施設の所在地	駒井字西御門 875 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1999
供用年数	25	種別	PC 橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	JR中央本線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	21.0		幅員(車道幅員)	12.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 4 年 11 月				
	調査結果	伸縮装置に起因する漏水跡が下部工に確認されているため、早期に対処されたい。 下部工のひびわれは幅、本数ともに多いため早期に対処されたい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	16	道路台帳索引番号	L-11	施設管理者	荊崎市
路線名	市道中田 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	西町下橋
施設の所在地	中条字西町 733 番 地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和9年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	18	道路台帳索引番号	K-9	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穴山 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下木戸橋
施設の所在地	小田川字下木戸 128 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.3		幅員(車道幅員)	6.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	全体に損傷は軽微	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	20	道路台帳索引番号	C-5	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	寺沢橋
施設の所在地	上円井字島崎 5 番地先	起点からの距離		建設年度	1967
供用年数	57	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	21	道路台帳索引番号	C-6	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	柳坪橋
施設の所在地	下円井字皿之子田 1199 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0		幅員(車道幅員)	4.9
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台 鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 2 年 10 月	
	調査結果	舗装の土砂堆積、路面の凹凸	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	22	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	水無橋
施設の所在地	下円井字水無 1046 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	BOX	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	連合堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0		幅員(車道幅員)	6.1
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	23	道路台帳索引番号	H-16	施設管理者	荏崎市
路線名	市道清哲 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	桐沢橋
施設の所在地	祖母石字高砂 2378 番地先	起点からの距離		建設年度	1993
供用年数	31	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	285.7		幅員(車道幅員)	9.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	擁壁式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式	鉄筋コンクリート張出式橋脚		海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年11月	
	調査結果	下部工の落書き	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	25	道路台帳索引番号	M-39	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 25 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	あけぼの橋
施設の所在地	上条南割字外御勅 使 3314 番地 249 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.9		幅員(車道幅員)	10.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考	
-----	--

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	27	道路台帳索引番号	O-33	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 76 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	梅木田橋
施設の所在地	上条中割字梅木田 939 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5		幅員(車道幅員)	8.0
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	28	道路台帳索引番号	M-25	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	甘利沢下橋
施設の所在地	鍋山字釜無河原 218 番地 104 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	甘利沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	86.0		幅員(車道幅員)	9.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	29	道路台帳索引番号	O-29	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 2 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	古川橋
施設の所在地	若尾字石塚 1266 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	全体に損傷は軽微	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	30	道路台帳索引番号	O-35	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	西割大橋
施設の所在地	下条西割字川崎 427 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.4		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	床版の鉄筋露出	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 令和3年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	31	道路台帳索引番号	O-36	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	前新田橋
施設の所在地	下条西割字前新田 897- 2 番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	6.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	全体に損傷は軽微	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	32	道路台帳索引番号	O-23	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 9 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	若宮上橋
施設の所在地	若宮一丁目 574 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他損傷が見られるが、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	33	道路台帳索引番号	X-21	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	経塚橋
施設の所在地	穂坂町大字長久保 29 番地先	起点からの距離		建設年度	1984
供用年数	40	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	長久保沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	8.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	全体に損傷は軽微	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	34	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	下新居中橋
施設の所在地	上今井字梅の久保 2288 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	全体に損傷は軽微	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	35	道路台帳索引番号	O-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂9号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	ダラダラ橋
施設の所在地	三之蔵字アメ田 2280 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	正楽寺川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設	点検診断日	令和2年10月	
----	-------	---------	--

設 の 状 態	調査結果	主桁、支承に著しい腐食が見られる。

悪等の概要	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度
---	------	-------------------

長 寿 命	内容	5年に1回の定期点検を行う。

部 化 計		

画 の 内 容	実施予定時期	令和6年度～令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	106.5

[illegible]

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
--	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------

対策費用(百万円)		50	56.5						
-----------	--	----	------	--	--	--	--	--	--

対策の内容・実施時期			補修工事	補修点検						
------------	--	--	------	------	--	--	--	--	--	--

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	37	道路台帳索引番号	N-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井2号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	四枚橋
施設の所在地	北下条字榎田1904番地4先	起点からの距離		建設年度	1988
供用年数	36	種別	PC桁橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.5		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	伸縮装置にゴムの変形や凹凸、漏水が確認できるため、早期に対策する必要がある。また、支承周りに土砂が堆積しているため、清掃を行うことが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	38	道路台帳索引番号	L-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井3号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	中央公園上橋
施設の所在地	南下条字滝坂 1165番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0		幅員(車道幅員)	5.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	防護柵不備	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	39	道路台帳索引番号	L-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 5 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	駒井上野坂下 2 号橋
施設の所在地	駒井字宮ノ前 1225 番地先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	34	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.5				幅員(車道幅員)		5.2		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
			支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり			
		橋台工形式	逆T式橋台				基礎型式				
		橋脚工形式					海岸からの距離		—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月									
	調査結果	舗装の路面の凹凸									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和7年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5						
対策の内容・実施時期					定期点検						
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	40	道路台帳索引番号	F-10	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 2 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	三ツ石上橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8863 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	6.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	41	道路台帳索引番号	E-10	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 2 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	入戸野橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8865 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	48	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	282.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	床版:木材の混入,床版張出部:鋼材の露出,主桁:定着部の異常(PC鋼材横締め)、鋼材の露出,端横桁:鋼材の露出、豆板、空洞、豆板,横桁:木材の混入,橋台:土砂堆積,防護柵:高さ不足,地覆:鋼材の露出、豆板、空洞,伸縮装置:目地材などのずれ、脱落,橋脚:木材の混入、砂すじ、空洞、落書き	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	42	道路台帳索引番号	K-31	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	山口上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3927 番地 5 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	床版のひびわれ、床版の遊離石灰	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	43	道路台帳索引番号	L-32	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	宮下上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 2828 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7		幅員(車道幅員)	9.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	床版の豆板、鉄筋露出	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	44	道路台帳索引番号	N-32	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	宮下橋
施設の所在地	上条北割字宮下 3134 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.3		幅員(車道幅員)	8.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	45	道路台帳索引番号	P-36	施設管理者	韮崎市
路線名	市道龍岡 3 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	町屋橋
施設の所在地	下条中割 275 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	46	道路台帳索引番号	S-37	施設管理者	韮崎市
路線名	市道龍岡4号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	真葛橋
施設の所在地	下条南割字宮本 995番地2先	起点からの距離		建設年度	1972
供用年数	52	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	24.1		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	主桁、横桁、支承、伸縮装置については予防保全の観点から補修が望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	47	道路台帳索引番号	S-35	施設管理者	荊崎市
路線名	市道龍岡 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	東村橋
施設の所在地	下条東割字長塚道 下 644 番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	4.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月	
	調査結果	防護柵不備	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	補修工事を実施。 ５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和７年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	48	道路台帳索引番号	L-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 26 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	一ツ谷中橋
施設の所在地	一ツ谷字海老島 1835 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	3.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月				
	調査結果	床版の広範囲に剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 11 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	49	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 30 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水神住宅橋
施設の所在地	水神二丁目 4828 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.2		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	橋面下流側に鉄筋が突き出たままの状態となっている箇所があり、仮に通行者が転倒した場合、非常に危険な状態であると言えるため、撤去することが望ましい。 床版のジャンカは全体に渡っており、施工不備によるものと思われる。経過観察されたい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	50	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 36 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	荊崎 36-1 号橋
施設の所在地	水神一丁目 4809 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.0		幅員(車道幅員)	3.3
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	水路側壁および地覆に幅の大きいひびわれがみられるため、経過観察の中で損傷の進行が確認されるようであれば、早期に対策を施す必要がある。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	51	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 2 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2694 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.8		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	地覆に広範囲の鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承周りに土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	52	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 1 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2354 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	5.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	舗装に段差やひびわれがあるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 その他床版や橋台に軽微な剥離・鉄筋露出などの損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	53	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 64 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 3 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2341 番地 6 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	10.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	水路側壁天端に比較的大きなひびわれがあり、状況に応じて補修する必要がある。また、水路側壁に見られる漏水は伸縮装置不備に起因しているため、状況に応じて対策を施す必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	54	道路台帳索引番号	Q-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 64 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 3 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2741 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		12.1			幅員(車道幅員)		4.5		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
			支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり			
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式					
		橋脚工形式				海岸からの距離		—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月									
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 伸縮装置に路面の凹凸があるため、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 11 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	55	道路台帳索引番号	R-28	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 73 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	夏目原橋
施設の所在地	中島二丁目 3231 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.1		幅員(車道幅員)	4.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支保全体に腐食が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 伸縮装置の目地材が脱落していることから速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	56	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 75 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 1 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2858 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.6				幅員(車道幅員)		3.5		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
	橋脚工形式					海岸からの距離		—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	支承アンカーボルトにゆるみ・脱落がみられることから速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	57	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 75 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 2 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2755 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	15.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・床版下面の下流側に生じている橋軸方向のひびわれから泥混じりの漏水が見られる。この上部の路面にも同方向のひびわれが発生しているため、下面まで貫通したひびわれに路面から水分が供給されている可能性がある。また、床版下面の上流側などにも路面からの水分供給が疑われる表面剥離等の変状が見られる。今後も床版に水が供給され続けると内部鉄筋の腐食などに繋がる恐れがあるため、本件においては、橋面防水等の止水対策を行い、橋面および下面のひびわれを補修しておくことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	59	道路台帳索引番号	P-24	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 82 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	富士見上橋
施設の所在地	富士見一丁目 1162 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	PCホロー桁に遊離石灰を伴うひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装にひびわれや段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	60	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 84 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 4 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2696 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.1		幅員(車道幅員)	3.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版に多数のひびわれが見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 A2橋台上流側に大きな欠損があり、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	61	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	若宮中橋
施設の所在地	若宮二丁目 968 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	5.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 4 年 11 月				
	調査結果	防護柵(フェンス)支柱部の地覆コンクリートに欠損がみられるため、維持工事で対応する必要がある。 床版に生じている床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損、漏水・遊離石灰については経過観察を行う。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

個別施設整理番号	62	道路台帳索引番号	P-21	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	道喜橋
施設の所在地	若宮三丁目	起点からの距離		建設年度	1974
供用年数	50	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	道喜川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.6				幅員(車道幅員)	5.7			
	施設の構造等	上部工形式	桁橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり					
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり						
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離	—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	PC ホロー桁に多数のひびわれや剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 また、床版からの漏水・遊離石灰も多数見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 舗装に 5mm 以上のひびわれや段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 舗装に土砂堆積が見られることから、維持工事での除去が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	63	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	荊崎 95-1 号橋
施設の所在地	大字南下条字下河原 101 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7				幅員(車道幅員)		7.5		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
		橋脚工形式					海岸からの距離		—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月									
	調査結果	軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和14年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和11年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	64	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 97 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	振励橋
施設の所在地	若宮一丁目 554 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.6		幅員(車道幅員)	6.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月				
	調査結果	防護柵のボルトナットのゆるみ・脱落が見られることから維持工事での対応が望ましい。 橋台に不法占用があるため撤去が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 11 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	65	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 97 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	学校橋
施設の所在地	宮一丁目 621 番 地 1 先	起点からの距離		建設年度	1981
供用年数	43	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	6.7
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	66	道路台帳索引番号	Q-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 98 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	楯無堰 2 号橋
施設の所在地	上の山字大塚 2240 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	橋面に段差 25mm 程度の凹凸が確認されるため、状況を観察した中で対策を行う必要がある。 起点側水路側壁に幅の大きいひびわれがあるが、経過観察しながら損傷が進行する場合には早期に対応する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	67	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	新地 1 号橋
施設の所在地	字岩下字八重堂 643 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8				幅員(車道幅員)		4.2		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月									
	調査結果	舗装に段差や5mm以上のひびわれが多数見られることから、維持工事での対応が望ましい。また、土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和14年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和11年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	68	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	新地 2 号橋
施設の所在地	岩下字八重堂 624 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4				幅員(車道幅員)		2.9		
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)		別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり		
			支承型式		別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり		
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
		橋脚工形式					海岸からの距離		—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月									
	調査結果	A1 橋台に洗掘が見られる。現状で基礎自体安定していると考えられるが、状況を注視し、早期に対策を施す必要がある。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検									
	実施予定時期	令和9年度									
	対策費用 (百万円:概算)	1									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5					0.5				
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検				
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	69	道路台帳索引番号	Q-21	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	八重堂橋
施設の所在地	上の山字沼 2809 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.6		幅員(車道幅員)	3.1
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	床版には3ヶ所程度の剥離・鉄筋露出の損傷が見られるが、前回点検時と比べ錆の進行はしていないと思われる。 鉄筋の腐食進展の防止のため、状況に応じて補修を行う必要がある。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	70	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 115 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 5 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2567 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.0				幅員(車道幅員)		2.2		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	支承のアンカーボルトにゆるみ・脱落が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	71	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	荏崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	上今井上橋
施設の所在地	上今井字中丸 1683 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	6.0
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	A1、A2 両側に路面の凹凸が見られ、A2 側は前回点検時と比べ段差が大きくなっている。安全性を損なう可能性もあるため維持工事に対応する必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	72	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	唐沢上橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		3.5			幅員(車道幅員)		6.2		
	施設の構造等	上部工形式									
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式					
橋脚工形式				海岸からの距離		—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月									
	調査結果	舗装の土砂堆積は維持管理の中で撤去願いたい。 地覆、床版、下部工等の損傷は軽微なため、経過観察とする。									
	健全性の診断結果	Ⅰ (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	補修工事を実施。 5年に1回の定期点検を行う。 定期点検									
	実施予定時期	令和9年度									
	対策費用 (百万円:概算)	1									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5					0.5				
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	73	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	唐沢中橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	3.8
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	路上は土砂で埋め尽くされており、維持工事で取り除く必要がある。 地覆の損傷は軽微なため、経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	74	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 20 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	上組橋
施設の所在地	上今井字中丸 1893 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.9		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	—		

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装のひびわれは亀甲状を呈しており、ひび割れ幅も大きいため、状況に応じて補修が必要である。また路面の凹凸も大きいため、維持工事に対応する必要がある。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	75	道路台帳索引番号	V-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 21 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	原橋
施設の所在地	三ツ沢字京塚 3143 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	用の沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		7.3			幅員(車道幅員)		4.8		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)		別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり		
		支承型式		別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり			
		橋台工形式		逆T式橋台			基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月									
	調査結果	・上部工に目立った変状は見られず、概ね健全な状態を保っている。・各橋台の堅壁上部に生じているひびわれや鉄筋露出等の変状は、施工時のかぶり不足や締固め不足、初期ひびわれなどに起因するものと考えられる。いずれも局所的なもので比較的軽微であり、前回点検から目立った変化もないため経過観察とする。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して部材劣化を助長する要因となるため、排水樹の土砂詰まりと合わせて維持工事で改善しておくことが望ましい。・両橋台の堅壁に伸縮部から伝わったと思われる									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和8年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)						0.5					
対策の内容・実施時期						定期点検					

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	76	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 42 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	権現沢下橋
施設の所在地	宮久保字上手平 4945 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	地覆に生じている欠損はガードパイプの支柱部に生じており、衝撃が加わった際にガードパイプが簡単に倒れてしまう可能性がある。維持工事で対応する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	77	道路台帳索引番号	R-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 44 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	女夫橋
施設の所在地	宮久保字女夫石 5037 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.6		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・床版下面に初期材齢時の乾燥収縮等に起因すると推察されるひびわれが生じているが、今のところ開口幅は比較的小さく、前回点検から大きく進行した様子も見られないため経過観察とする。また、床版下面や橋台の堅壁上部などに散見する鉄筋露出は施工に由来するかぶり不足や側方などから流れてくる雨水の影響等に起因するものと考えられる。いずれも局部的かつ小規模なもので、前回点検から目立った変化もないため経過観察とするが、予防保全的な対策として水切り等の整備を事前に行っておくと橋梁の長寿命化に繋がると考えられる。・防護柵は全体に	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	78	道路台帳索引番号	W-12	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水源中橋
施設の所在地		起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		3.9			幅員(車道幅員)		4.3		
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)		別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり		
			支承型式		別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり		
		橋台工形式				基礎型式					
		橋脚工形式				海岸からの距離		—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月									
	調査結果	床版に損傷面積が比較的大きな損傷がある。経過観察でよいが、鉄筋が露出しているため、損傷進行が確認された場合は早急に対応する必要がある。									
	健全性の診断結果	Ⅰ (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和9年度									
	対策費用 (百万円:概算)	1									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5					0.5				
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	79	道路台帳索引番号	X-12	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水源上橋
施設の所在地	柳平字唐沢 339 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	4.3	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり		
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式	
橋脚工形式				海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月					
	調査結果	床版に幅 0.1～0.3mm のひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和 11 年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	80	道路台帳索引番号	V-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 51 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	お寺橋
施設の所在地	宮久保字宮久保 5471 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁 PC ホロー桁にひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 路面に軽微なひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	81	道路台帳索引番号	W-14	施設管理者	荏崎市
路線名	市道穂坂 51 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	倭文橋
施設の所在地	字宮久保字隆宮 6050 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	5.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 4 年 11 月				
	調査結果	伸縮装置に起因した漏水が両橋台にて確認された。状況を観察した中で対策されたい。 また、A1 橋台下流側に見られる損傷は防護柵支柱部分より発生しており、安全性は確保されていない。 防護柵を基準に適合したものに変えることも検討した中で補修を行った方が良い。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	82	道路台帳索引番号	Y-7	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 54 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	古森上橋
施設の所在地	字柳平字古森 856 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	2000
供用年数	24	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.3		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支承の一部に腐食が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。また、支承に土砂が堆積していることから除去することが望ましい。 橋台に土砂が堆積していることから除去することが望ましい。 舗装に5mm以上のひびわれが多く見られることや伸縮装置の土砂詰まりなどが見られることから、維持工事での対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	83	道路台帳索引番号	Y-8	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 55 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	古森下橋
施設の所在地	字柳平字久保の後 755 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.5		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支承が著しく腐食していることから、速やかに補修を行うことが望ましい。また支承に土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 橋台に土砂が堆積していることから除去することが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5				幅員(車道幅員)		4.8		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無		別紙図面のとおり				
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無		別紙図面のとおり					
		橋台工形式	逆T式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		－				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	橋台に遊離石灰を伴うひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。水が集まる A1 橋台のみに損傷が現れていることから ASR の疑いも考えられる。 支承全体に腐食および防食機能の劣化が見られ、沓座モルタルの欠損もみられることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	85	道路台帳索引番号	U-12	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 58 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	三之蔵橋
施設の所在地	三之蔵字山崎 5108 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1978
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	50.7		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	下部工に遊離石灰を伴うひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。その他、不法占拠が各所に見られることから、維持工事での対応が望ましい。 舗装に段差が見られること、伸縮装置や支承周りに土砂詰まりが見られることなどから、維持工事での対応が望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	86	道路台帳索引番号	T-12	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	山崎橋
施設の所在地	字三之蔵字横吹 4892 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.1		幅員(車道幅員)	5.1
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁、床版に多数の広範囲な剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。橋台に広範囲な欠損や剥離、ひびわれが見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。また、各所において、土砂堆積が見られるため、維持工事で除去することが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	87	道路台帳索引番号	U-11	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	三之蔵橋
施設の所在地	三之蔵字横吹 5167 番地先	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.6		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支承の腐食が著しいことから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装の段差やひびわれが見られること、防護柵のボルトの脱落が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	90	道路台帳索引番号	S-13	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 67 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	三之蔵沢上橋
施設の所在地	三之蔵字日影平 4134 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・上部工の床版に目立った変状は見られず、概ね健全な状態を保っている。・A1 橋台上流側の沓座に堆積している土砂は点検の障害になるだけでなく、水分を含んで部材の劣化を助長する要因となるため除去作業が望まれる。その際は清掃等の一時的な対応ではなく、土留めを設置するなどの抜本的な対策が望まれる。・路面の地覆脇に見られる土砂堆積や草の自生も路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して劣化を助長する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	91	道路台帳索引番号	R-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 68 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	お寺橋
施設の所在地	三之蔵字西ノ前 3762 番地先	起点からの距離		建設年度	1984
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.4		幅員(車道幅員)	5.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・G1 桁終点側(可動側)の桁端部がパラペットに接触している。また上部の伸縮装置もプレート同士が接触している。点検が夏季に近く遊間が最小となる時期の接触であることや、現状、支承部に傾きや沓座モルタルの欠損などの異常が見られないことなどから、構造的な重症度リスクは低いと考える。ただし、パラペットとの接触部を介して漏水が直接桁や支承に流れて腐食を助長したりするなど二次的な劣化要因になることも考えられるため、端部切断等により適切な遊間を確保しておくことが望ましい。 ・A2 橋台の堅壁に繁茂しているツタは点検時の妨げに	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和9年度
	内容	補修工事を実施。 5年に1回の定期点検を行う。 定期点検
	実施予定時期	令和8年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考	
-----	--

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	92	道路台帳索引番号	R-16	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 71 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	横道橋
施設の所在地	宮久保字石原場 2777 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	アーチ橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	2.8
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装のひびわれ幅が大きく、またひびわれから植生も確認できるため、状況に応じて補修を行う必要がある。 また、床版には豆板が確認されているが、軽微であるため経過観察とする。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	93	道路台帳索引番号	P-16	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 73 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	神ノ木橋
施設の所在地	宮久保字神の木 2586 番地先	起点からの距離		建設年度	1975
供用年数	49	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中央自動車道

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	35.6		幅員(車道幅員)	4.0	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台			基礎型式	
橋脚工形式				海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 9 月					
	調査結果						
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和 5 年度補修完了					
	対策費用 (百万円:概算)	60.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		55		0.5						
対策の内容・実施時期		補修工事		定期点検						

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。 ○令和5年度補修完了

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	94	道路台帳索引番号	P-16	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 75 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	出口橋
施設の所在地	三之蔵字出口 3499 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・PC 桁の間詰め部全体に錆汁混じりの著しくつらら状になった遊離石灰の滲出が見られる。橋面などから水分が供給されていると考えられ、横締め鋼材の腐食などが懸念される状況である。また、G2～G4 桁下面の起点側に生じている橋軸方向のひびわれは、内部鋼材の腐食膨張に起因するもの、あるいは塩害や DEF(エトリンガイトの遅延生成)、ASR(アルカリシリカ反応)などによる劣化の可能性が考えられる。・上記損傷はいずれも橋面や側方などから供給される雨水やそれに溶けた凍結防止剤の塩分などの影響を受けて生じたものと推察されるため	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	95	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 77 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	権現沢中橋
施設の所在地	宮久保字三百水 783 番地 15 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	4.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	防護柵に損傷があるものの緊急性を要するものではなく、経過観察でよい。また、床版に見られる床版ひびわれ、漏水・遊離石灰についても、軽微であるため経過観察でよい				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	96	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 77 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	権現沢上橋
施設の所在地	宮久保字三百水 783 番地 85 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.5		幅員(車道幅員)	4.9	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 12 月					
	調査結果	・主桁は全体的に塗装の変色があり、継手部やフランジなどの一部に局所的な点錆が見られるが、比較的点錆の密度が小さく、表面錆の広がりも軽微であるため経過観察とする。・デッキプレート床版に特筆すべき損傷は見られない。張出端部のコンクリート部に見られる表面剥離はセメント分の溶出に伴う表面劣化や凍害によるスケーリング等が考えられるが軽微なもので前回点検から目立った変化も無い。・両橋台にひびわれ等の変状が見られるが、いずれも局所的で、前回点検から目立った変化も見られないため経過観察とする。・支承は全基とも全体的に点錆					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和8年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	97	道路台帳索引番号	Q-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 81 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	宮下橋
施設の所在地	三之蔵字西の前 3688 番地先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.0		幅員(車道幅員)	8.2	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台			基礎型式	
橋脚工形式				海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月					
	調査結果	・床版下面に生じているひびわれは初期材齢時の乾燥収縮等に起因するものと推察する。遊離石灰の滲出も殆ど見られないため、ひびわれの貫通や路面からの水分供給等はないものと思われる。今後も著しい劣化進行の可能性は低いと判断するが、ひびわれが劣化因子の侵入経路となって部材の耐久性を低下させる要因になることも考えられるため、幅 0.2mm を超えるものは予防保全の観点から注入等により補修しておくことが望ましい。・下部工の胸壁天端や翼壁に生じている不規則な方向のひびわれは、初期凍害や ASR の可能性も考えられる。縦壁や胸壁の					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和8年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	98	道路台帳索引番号	Q-15	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 81 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	穂坂 81-1 号橋
施設の所在地	三之蔵字宮の下 3302 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.9		幅員(車道幅員)	7.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・床版下面の中央付近と下流側において、打継部とみられる箇所から茶色を呈したつらら状の遊離石灰の滲出が見られる。また、遊離石灰の周囲に生じている表面的な剥離は、橋面から水分が供給されたことで生じたものと推察される。遊離石灰の滲出状況などから考えると打継部は上面に貫通して開口している可能性が高く、内部鉄筋の腐食も懸念されるため、予防保全的な対策として橋面防水等を行っておくことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	長寿命化対策として、５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	99	道路台帳索引番号	U-13	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 88 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	穂坂 88-1 号橋
施設の所在地	宮久保字保久原 5638 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	伸縮装置からの漏水が下部工に確認されている。若干、錆色を呈しているためアンカーバーの腐食が懸念される。状況に応じて伸縮装置交換等の対策を施す必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	101	道路台帳索引番号	Q-21	施設管理者	荏崎市
路線名	市道穂坂 92 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	穂坂 92-1 号橋
施設の所在地	上の山字寺平 2812 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	2.7
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	終点側伸縮装置部分に路面の凹凸が見られる。 段差 28mm と比較的大きな段差であるが、現場状況からみて車両が走行することはほぼないと考えられるため、維持工事で対応することが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	長寿命化対策として、５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	102	道路台帳索引番号	Z2-9	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	穂坂 95-1 号橋
施設の所在地		起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	ゴルフ場排水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	7.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・床版下面のコンクリート表面が全体的に剥離しており、その中に小規模な鉄筋露出が多数発生している。施工に由来するかぶり不足や豆板、側方などから流れてくる雨水の影響等によって生じたものと考えられる。今後範囲が拡大する可能性もあるため、予防保全の観点から断面修復等により補修しておくことが望ましいが、修復箇所の再劣化や新たな鉄筋露出が発生する可能性もあるため、水切りの整備などの防水対策も合わせて行うことが望ましい。・上流終点側の路面の凹凸はパッチングにより一部補修されているが、補修が度々繰り返されているよう	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	103	道路台帳索引番号	O-18	施設管理者	荳崎市
路線名	市道藤井7号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	塩川取水水場橋
施設の所在地	北下条字宮木 905 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	2.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 5 年 12 月				
	調査結果	路上に軽微な損傷が見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度				
	内容	長寿命化対策として、5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検				
	実施予定時期	令和5年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	104	道路台帳索引番号	P-18	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 7 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	岩根橋
施設の所在地	北下条字蔵之前 859 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	塩川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		117.5			幅員(車道幅員)		3.7		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	逆T式橋台			基礎型式					
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚			海岸からの距離		—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 伸縮装置の目地材にひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 9 年度									
	内容	5 年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	105	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 10 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	金山橋
施設の所在地	若宮一丁目 647 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・上下部工に特筆すべき損傷は見られず、橋梁は概ね健全な状態を保っていると判断される。・A1 橋台の上流側の沓座に堆積した土砂は点検時の妨げとなったり、水分を含んで部材環境を悪化させる要因となるため除去しておく必要がある。・防護柵の上流終点側の支柱にボルトの脱落が見られるため維持工事による再設置が望まれる。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	補修工事を実施。 ５年に１回の定期点検を行う。 定期点検
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	106	道路台帳索引番号	O-21	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 17 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	清水橋
施設の所在地	南下条字水無 488 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.1		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれや段差が多く見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 14 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	107	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 20 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	南下条中橋
施設の所在地	南下条字水無 434 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	2.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・G2 桁のコンクリート表面が薄く剥離している。セメント分の溶出に伴う表面劣化や凍害によるスケーリング等が考えられる。変状は G2 桁に限定されているため経過観察とするが、内部に水分が供給されている可能性もあるため今後の進行に注意が必要である。・A2 橋台の堅壁に漏水跡が見られる。伸縮装置からではなく側面から流れた雨水が伝わって来た可能性も考えられる。この部分は鋼橋のように腐食が懸念される鋼部材はほとんどなく、また橋台堅壁の漏水跡が見られる部分にも特に損傷が見られないことから当面経過観察とする。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	108	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 21 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	南下条上橋
施設の所在地	字南下条字山影 1801 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・防護柵端部の笠木にボルトのゆるみが見られるため維持工事により改善しておくことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和９年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和８年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。